

令和6年度

田原市のまちづくり

2月29日(木)に開会した令和6年田原市議会第1回定例会の冒頭、山下政良市長は、令和6年度の市政運営を明らかにする施政方針を説明しました。令和6年度予算案も原案通り可決されましたので、施政方針の要旨と新年度予算の概要をお知らせします。

美半島を舞台に開催されました。世界的にも注目度が

を期待しています。

このように、まず、本市は昨年8月に市制施行20周年を迎えました。この機会を契機に、本市のこれまでの歩みを振り返り、魅力を再発見し、郷土愛を高めるため、記念式典の開催や市民公募事業の実施など、さまざまな関連事業を行ってまいりました。

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類から5類へ移行し、行動制限のない中でさまざまなイベントが実施されました。各地で賑わいが見られ、コロナ禍前の日常が戻りつつあることが実感できました。

私が市民の皆さまの信託を賜り、3期目の市政を担わせていただいてから、早10カ月が過ぎようとしております。3期目の就任時に申し上げたとおり、私の目標である「渥美半島を元気にし、訪ねてみたい、住み続けたい」と思っていただけのようなまちづくりに向け、さまざまな施策に着手しているところでございます。

《施政方針の要旨》

高いこの大会には、日本全国、そして海外から約700名の選手が集まり、市民の皆さまをはじめ、多くの方々にご協力をいただき、開催できたものと認識しております。

令和6年度は、今後10年間のまちづくりの根幹となる最上位計画である「第2次田原市総合計画」がスタートする年となります。本計画においては、特に今後の人口減少社会を見据え、それに適応した活力あるまちに向け、さまざまな主体が地域の魅力を活かしていくことを重点テーマとして掲げています。そのため、予算編成における重点施策として、「住み続けたいまちづくり」、「住んでみたい・訪ねてみたいまちづくり」、「未来につながるまちづくり」の3つの柱を掲げ、元気に渥美半島の実現に向けて取り組んでまいります。

平成27年4月に市政の舵取りを担わせていただいた以来、本年は10年目という節目を迎えます。市民の皆さまと一緒に知恵を出し合い、本市の未来を担う子どもたちを育み、夢を持てる、誇りに思えるような「まち」をつくりていきたいと思い、令和6年度予算を「子育てを応援し、たはらの未来を彩る」予算として編成いたしました。

市民の皆さまの格別のご理解とご協力をお願い申し上げます。

◆施政方針の全文は、市HPで
ご覧いただけます。



▲市HP